

農業体験教室

野菜の作付けから収穫まで行った、農業体験教室についてご報告します。

日 時	①令和元年5月21日（火）午前9時～10時30分 ②令和元年6月11日（火）午前9時～11時 ③令和元年8月20日（火）午前9時～10時30分 ④令和元年9月10日（火）午前9時～10時30分
場 所	①南那須公民館 第1会議室、②③④大金地内借用地
講 師	久郷 良一 氏
参 加 者	①8名、②8名、③7名、④6名
費 用	種苗代等450円

【講座の内容】

「農業は管理が一番大切。」と講師の久郷良一さんの言葉で始まり、「私の話すことを100%は信じないで、自分で作って経験してもらいたい。」と、言葉だけでなく、実践で学んでもらいたいとの話がありました。

第1回の講座では、配布した野菜の栽培カレンダーを基に、参加者の皆さんが作りたい野菜を確認しながら、栽培計画を立てました。



毎日誰かは畑に足を運ぶように、参加者1人ずつに当番の曜日を割り振り、管理・収穫を行うことにしました。

第2回には、大金地内の借用地で本格的に農作業開始です。

講師の指導の下、第1回の際に種をまいたキュウリの苗をはじめ、スイカ・メロン・トマトの苗植え、トウモロコシ・オカヒジキの種をまきました。

第3回は、白菜の種まきの他、オクラ・オカヒジキ・トマト・キュウリ等の収穫を行い、第4回は、白菜の苗植え、大根の種まき、オカヒジキ・オクラの収穫を行いました。

キュウリ・トマト・オカヒジキ・オクラは、当番の日を決めてある程度の数量を収穫することができましたが、中には今年の天候不順の影響を受け、収穫できなかった作物もあり、改めて農業の難しさを実感しました。



【まとめ】

ほとんどの参加者は農業経験者でしたが、これまでは自己流だったため、講師の説明に「こうするのか。」と、納得することが多かったようです。

また、アンケートに「畑をずっとほったらかしていたが、栽培する意欲がわき、今年はいろいろなものに挑戦できた。」といった声があり、農業に対する意欲につながったようです。



講座としては終了となりますが、第4回で作付けを行った白菜と大根は11月中旬以降に収穫を予定していますので、もう少し農作業は続きます。

参加者の皆さんには、収穫できた野菜の美味しさを忘れずに、講座で学んだことを今後の生活に役立てていただきたいと思います。